

2025年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	VR2	科 名	Ⅱ部ファッション流通科 2 年	単 位	2 単位
科目コード		科目名	ビジュアルマーチャンダイジング	授業期間	(前期)

担当教員(代表) : 田口朋子	共同担当者 :
-----------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

VMD(ビジュアルマーチャンダイジング)の基礎知識を学び、その目的と効果を理解する。演習を通して、店舗、売り場の演出のプランニングやディスプレイテクニックを学ぶ。 装飾展示技能検定3級レベルの習得。

【授業計画】

1. VMD概論・売場づくりの基本 【1 コマ/講義・演習】
2. ストアデザイン。什器と店舗照明の種類と効果。マーチャンダイズプレゼンテーション【1 コマ/講義・演習】
3. ショーイングテクニック【2 コマ/実技】
ウエアリング/フォーミング/スタンディング/レイダウン/ネクタイ/チーフ/ラッピング/ピンナップ等
【2 コマ/実技】
4. VMDにおけるMDとの関連性。ショーウィンドープランニング【1 コマ/講義・演習】
5. ステージディスプレイ【1 コマ/グループワーク】
6. これからのVMD【1 コマ/講義・演習】

授業テーマに沿った店舗リサーチやプランニング課題を実習とする。

【評価方法】

S～C・F評価 評価基準：演習、実技、課題、VMD用語理解度テスト等の学業評価 80% 授業姿勢 20%

主要教材図書 「ディスプレイ・VP・VMD」(文化服装学院編)

参考図書

その他資料 配布プリント、マネキン会社カタログ

授業の特徴と担当教員紹介

店づくりの戦略的なVMDを知り、その業務内容を学ぶ。ディスプレイの基本テクニックを学び、演出プランやステージディスプレイを行う。 ビジュアルマーチャンダイザーとしてアパレルだけでなく多業種で活動。

記載者氏名 田口朋子

2025年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード VR2	科 名 II部ファッション流通科2年	単 位	7単位
科目コード	科目名 SNSマーケティング	授業期間	(後期)

担当教員(代表)： 青柳 剛	共同担当者： 津田 華
----------------	-------------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

BEAMSの企業活動や販売スタッフの実例を通じて、アパレル業界における情報発信の意義と実践を学びます。会社見学や講義で業界理解を深めたうえで、SNS活用や顧客インサイトの読み取り、発信戦略について実践的に学習。最後に、学んだ内容をもとに情報発信の企画・制作・発表を行います。

【授業計画】

■授業タイトル：「BEAMS流 情報発信と顧客共創 ～アパレル業界のリアルを知る体験型プログラム～」

■期間：2025年9月16日～11月11日（全7回）

■時間：各回 18:00～20:30

■対象：ファッション流通科2年生

■形式：講義・演習・リサーチ・グループ活動・プレゼンテーション

第1回】オリエンテーションと業界理解

テーマ：BEAMSの企業理念とアパレル業界の現状 / 方法：講義、アイスブレイク、質疑応答

第2回】企業インプットとリサーチ

テーマ：店舗リサーチとオフィスツアー / 方法：リサーチ、見学、発表準備

第3回】リサーチ結果の共有と自己分析

テーマ：リサーチ結果の発表と自己のインサイト分析 / 方法：グループディスカッション、発表

第4回】情報発信の潮流とSNS運営

テーマ：アパレル業界における情報発信の成功事例とSNS運営のマナー / 方法：講義、グループディスカッション

第5回】接客とSNS活用のマインドセット

テーマ：接客に必要なマインドセットとSNS活用 / 方法：講義、グループディスカッション

第6回】トークセッションとプレゼン準備

テーマ：SNSプラットフォーム別のディベートとプレゼン準備 / 方法：ディベート、グループワーク

第7回】最終プレゼンテーションと振り返り

テーマ：情報発信企画の発表と振り返り / 方法：プレゼンテーション、クロージングセッション

【評価方法】

S～C・F評価 評価基準：学業評価 80% 授業姿勢 20%

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 なし

授業の特徴と担当教員紹介

■ 授業の特徴

現場スタッフを招いたリアルな情報を通じて、アパレル業界における情報発信の役割と実践力を学びます。SNS活用の企画・制作・発表まで体験する、実践型プログラムです。

■ 担当教員紹介

ビームス カスタマーエンゲージメント本部 戦略部所属。BtoC特化型人材育成、店舗運営管理、現場起点の学びや仕組みづくりを推進。大学との産学連携の担当およびコーディネート業務をこなす。

記載者氏名 青柳剛